

## 第86回 宮崎大学イブニングセミナー

めざせ!

## 健康寿命日本一

宮崎大学が取り組むSDGs～すべての人に健康と福祉を～



## 宮崎大学 みやざき健康街づくり構想

日時:令和5年2月20日(月) 17:30-19:00

場所:Zoomウェビナーで配信します。

定員:制限は設けておりません。

申込方法:QRコードをクリックするか、コードを読み取ってお申込みください。

上記でのお申込みが困難な場合には、  
メールにて「中高生・学生・一般・教職員等の別、氏名」をお知らせ下さい。宮崎大学研究推進課総務係  
E-Mail: ken-somu@of.miyazaki-u.ac.jp  
TEL : 0985-58-2882

《司会》 武谷 立(医学部 薬理学分野 教授)

開会挨拶 鮫島 浩 (学長)

## 発 表

- 17:35-17:50 「今日から考える心臓病の予防:  
健康な未来のために知っておくべき基礎知識と最新医療事情」  
渡邊 望 (宮崎大学医学部 機能制御学講座循環動態生理学分野 教授)
- 17:55-18:10 「心不全パンデミックにおける体に優しい心臓外科治療」  
古川 貢之 (宮崎大学医学部 外科学講座心臓血管外科学分野 教授)
- 18:15-18:30 「血栓予防薬の効果を判定する新しいモニタリングシステム」  
海北 幸一 (宮崎大学医学部 内科学講座循環器・腎臓内科学分野 教授)
- 18:35-18:50 「血管を新しく作るしくみの理解と医療への応用」  
西山 功一 (宮崎大学医学部 機能制御学講座血管動態生化学分野 教授)

めざせ!  
健康寿命日本一

※各発表の後に質疑応答の時間を設けます。

閉会挨拶 片岡 寛章(理事・副学長)

# 第86回宮崎大学イブニングセミナー

テーマ:みやざき健康街づくり構想:目指せ!健康寿命日本一  
宮崎大学が取り組むSDGs~すべての人に健康と福祉を~

司会:武谷 立



## 1.「今日から考える心臓病の予防: 健康な未来のために知っておくべき基礎知識と最新医療事情」 渡邊 望(教授)

心臓の構造や仕組みは小中学校で習いますが、心臓病の予防のことは学校では教えてくれません。長い年月をかけてじわじわと進んでいく心臓病。急な発作も、振り返れば予防できたのに、という場合が実は多いのです。生まれつきの心臓病でも、お年寄りになるまで症状がなく気づかれないことも。心臓病の早期発見、予防、早期治療のためには、最新医療を含めた医療側の進歩も重要ですが、ひとりひとりが正しい知識を持って生活し、適切な検査を受け医療につながることもとても大切で、知識と行動により自分や家族の命を助けることができます。心臓病を防ぐために知っておきたい基礎知識に加え、最新の3D画像・ホログラムを使った心臓病の診断や外科手術、基礎研究室で取り組むミクロの世界での心臓病の解明など、宮崎大学チームで取り組む心臓病の克服への挑戦をご紹介します。



## 2.「心不全パンデミックにおける体に優しい心臓外科治療」 古川 貢之(教授)

日本での心臓疾患による年間の死亡者数は約20万と癌に次ぐ2番目の死亡原因となっています。この中で心不全による死亡者数が最も多く、さらに心不全の患者数は今後20年間増加することが予想される大問題(心不全パンデミック)であり、私たち皆がその重要性を認識しなくてはなりません。まずは予防が何よりも大切ですが、治療が必要な状態でも時期を逸せずに行えば多くは問題なく手術が受けられます。今回は講演では、最近増加している心臓弁膜症に対する体に優しい外科治療を紹介します。



## 3.「血栓予防薬の効果を判定する新しいモニタリングシステム」 海北 幸一(教授)

狭心症、心筋梗塞、心房細動、静脈血栓症などの血液が固まりやすい病気では、血の塊(血栓)を予防する治療が重要になります。しかしながら、上記の病気で用いる血栓予防のための薬剤は、効き過ぎると出血のリスクが増加します。現在、作用機序の異なる様々な血栓予防薬が使われており、単一の機器で全ての薬の効果を判定することは困難です。本講演では、様々な血栓予防薬の効果を一律に判定できる新しい評価システム(T-TAS)を紹介します。



## 4.「血管を新しく作るしくみの理解と医療への応用」 西山 功一(教授)

血管は、私たちのからだに隈なく網目のように張り巡らされています。そして、酸素や栄養を送ることで、組織や器官の機能を発揮させ、それを維持する重要な働きをしています。私たちのからだには、この血管の網目構造を維持しようとする反応が備わっています。それが、血管を新しく作る“血管新生”です。例えば、ケガをすると、組織と共に血管も血管新生により修復されます。しかし、血管が閉塞する虚血性疾患などでは、血管新生による修復が十分でなく、病気の発症につながっています。逆に、がんや炎症などでは、異常な血管が増えることで、病態を進行させています。つまり、血管新生のしくみを明らかにすることで、血管新生を制御して様々な病気を治療することが可能です。実際に、がんや虚血性疾患、そして眼科疾患で血管新生を制御する治療が行われています。私たちの研究室では、血管新生のしくみをできるだけ詳細に理解し、新たな治療標的を探索する研究を行っています。本セミナーでは、最近明らかにした、血管内の血流が血管新生を抑制する新たなしくみについて紹介すると共に、血管新生を的とした様々な医療の可能性についてお話する予定です。

